看護の思考技術・健康状態に応じた看護

（領域横断授業）

構築の考え方とねらい

「看護の思考技術・健康状態に応じた看護（領域横断授業）」は、対象の健康問題や生活上の課題を抱える対象を理解し、対象にあった適切な援助を行うための実践力を身につけることをねらいとしている。このねらいを到達するために、基礎分野や専門基礎分野の既習内容を活用しながら、領域の枠を超え包括的かつ継続的に学習できるよう以下の 7 つの科目により授業を構築する。

①看護を展開する思考技術
②健康と暮らしを守る看護
③健康回復を支える看護Ⅰ
④健康回復を支える看護Ⅱ
⑤健康回復を支える看護Ⅲ
⑥地域で暮らす人々への看護
⑦終末期を生きる人々への看護

この領域横断授業では、既習学習を土台とするため、基礎分野や専門基礎分野における1つひとつの知識をしっかりと習得しておく必要がある。この習得した知識を活用しながらグループワークを主体とする協働学習により、各科目の学習目標の到達に繋げるよう授業を構成する。